

人にやさしく
地球にやさしい

大日新聞

27号

大日化成株式会社

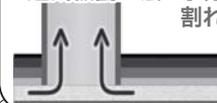
〒571-0030 大阪府門真市末広町 8-13

TEL : 06-6909-6755 FAX : 06-6909-6702

URL : http://www.dainichikasei.co.jp

通気緩衝工法

水分を逃がし防水層の
割れ・ふくれを防ぎます



BIGSUN
RX 工法

防水改修工事で大活躍するビッグサン

ビッグサン防水材は新築工事で採用されることは勿論ですが、「様々な既存防水下地（コンクリート、モルタル、鉄板、アスファルト、ウレタン、ゴムシート、塩ビシート、FRP など）に良好な接着性を有している」、「水系の材料であり、既存防水層に塗り重ねても下地を侵すことがないため、不具合箇所（浮き、フクレ、破断など）の部分補修のみでビッグサン防水材による塗り重ね改修施工が可能」、「臭気・毒性を極力少なくした環境重視型の材料であり、施工中の近隣トラブルに発展しにくい」といった理由から、防水改修工事で多く採用されています。今回は、当初別の防水工法が改修採用されたにも関わらず、ビッグサン防水材が中途採用・検討された事例を2例ご紹介させていただきます。

【事例1】東京都渋谷区内、某研修センター・屋上他（既存防水：ウレタン通気緩衝工法、ゴムシート防水）

現場は某企業の研修センターで、宿泊や食事など一般の方々の利用も可能となっている施設の防水改修工事。既存防水はウレタン通気緩衝工法、ゴムシート防水が混在していることもあり、下地を選ばず、また既存防水を撤去する事無く下地処理が大幅に軽減できるウレタン機械的固定工法が設計仕様となっていた。設計仕様通り、ウレ

タン機械的固定工法にて施工開始されたが、機械固定用下張シートをアンカーで固定する際に、階下に大きな音・振動が発生し、施設側からクレームが入り工事が中断。機械固定シート未施工であった箇所については、音・振動が発生せず、且つ既存ウレタン塗膜及びゴムシート防水を撤去する事無く、直接施工可能な代替工法を検討せざるを得ない状況となり、課題をクリアできるビッグサンが採用され、工事は無事終了した。同施設内の別棟でも今後改修工事が計画されているとの事であり、引き続きビッグサンでの改修工事を推奨していただいている。

【事例2】都内某病院屋上防水改修（既存防水：アスファルト防水+シンダー+コンクリート押え）

ウレタン塗膜防水での防水改修工事を予定し施工開始したところ、病院内の空気環境測定器のアラームが作動してしまったり、また、病院関係者、患者から「臭気がする」とのクレームが入ったとの事。原因を探ったところ、屋上に室内への空気を取り込む換気口があったため、ウレタン防水施工中に発生した有

機溶剤の揮発分が影響したものとされる。工事は中断し、別の防水工法を検討しなくてはならなくなった。そこで、水系の防水材であり臭気、毒性の少ないビッグサン防水材の使用が検討、採用され、その後は特に問題が発生する事なく工事は終了した。

今回紹介した事例は、決して他の防水工法を否定するものではありません。有機溶剤系の防水材でも機械固定工法でも適材適所で工法選定できれば非常に優れた工法であると考えますが、前述のような現場には不向きな工法であったという事です。

入居した状態で施工しなければならぬ改修工事では、何かと制約が付きまとうもの。そんな時は、ぜひビッグサン防水材をご検討ください。きっと皆様のご期待に応えられるものと思います。

入居者にやさしい
防水材
BIGSUN
・無臭
・無音
・無振動

薄層緑化技術協会主催 第4回屋上緑化講演会のご報告



薄層緑化技術協会 会長 小林知義

薄層緑化技術協会は、発足して10年となります。現在、当社がその事務局をお引き受けしております。また、会長は弊社の小林知義が就任させていただいております。

協会発足当初の活動趣旨は、当初多肉植物のセダム類を中心に軽量薄層の緑地に関する正しい認識を各界に広めようとして、資材メーカー・施工関係の10社が集まりスタートしました。

現在ではセダムのみに留まらず、薄層の芝や草花を含めて各種の特殊な緑化を広めることにより少しでも世の中にお役に立ちたいという思いから活動しております。

その中で、会の最も重要な行事の一つが4年前から開催しております、屋上緑化講演会です。毎年、受講者も増え好評を頂いております。

また今回から大阪府民の生活にプラスになるものとして、大阪府農林水産部様より後援をいただける事となりました。

普段皆さんが体感されている、緑がもたらす健康へのプラス影響とは、どんなものがあり、学的にはどう評価されているのか、客観的に数値化したものは有るのかなど、少子高齢化を迎えたこれからの日本にとって重要且つタイムリーな話題として、「病院の屋上緑地が要介護者高齢患者に及ぼす生理的リラックス効果を医療法人徳松会老人保険施設エルダリーガーデン施設長、松永医師に御願いますと同時に、当協会技術顧問で



桐蔭横浜大学 飯島 准教授

桐蔭横浜大学准教授の飯島先生には、「心の健康に役立つ緑地そして建築の緑」と題して御講演を頂くことが出来ました。

2月19日新大阪のメルパルクホールの会場には非常に寒い悪天候にもかかわらず熱心な受講者の皆さんが約150名以上ご参加頂き、多くの質疑応答も出て改めたこの問題の大きさを感じ取った次第であります。

一昨年の竹中工務店さま1階ホールをお借りして実施したときや、昨年の有楽町駅前東京フォーラムでの講演と開催を重ねるたびに参加者の数も増えております。

今後、一層努力し緑化に対し皆さんが御興味を持ち、お知りになりたいことを通して協会活動を広げて行きたいと、改めて決意した次第であります。

なお、詳細は薄層屋上緑化技術協会のHPをご覧ください。



薄層屋上緑化技術協会ホームページ
<http://www.hakusoryokka.org/>

熱血営業マン！
ダイニチくんの奮闘記

ビッグサンの
改修工法なら

ニオイが無い！

振動も無い！

うるさい音も
無いんです！

こんなところで活躍しています

商業施設屋上 (VUS500)



